

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	ライブラリーカフェ	事業コード	482
------------	-----------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	244
		若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化の館	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	新たな学びへの扉を開くことを通じて、市民の教養が高まることに資する。				
	概要	文化の館喫茶室という気軽な雰囲気のなかで、様々な分野で活動している人の話を聞き、参加者も含めた語らいの場を提供する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	開催回数(ライブラリーカフェコンサート含む)		回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	13	13	13		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	年間参加人数(ライブラリーカフェコンサート含む)		人	目標値	600	600	600	600	700
				実績値	885	792	890		
	計算根拠	年間参加人数		達成率(%)	147.5	132.0	148.3		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.05			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.2			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	120	110	110	100	104	
	決算額	84	99	98	98		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	毎回40人ほどの参加者があり、開催回数も今年9月で150回を迎える。全国の図書館などにおいても秀逸な試みだと賞賛されている。様々な分野の講師の他に、県立大学との提携や福井大学からの講師希望もあり、大学がない鯖江市にとって貴重な催しになっている。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	対価を徴収せずに知的、学術的知識を提供し、講師が市民と交流する催しは行政にしか果せない。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
		事業名			
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	講師への謝礼は最低であり、削減の余地はない。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国・県等の補助制度が存在しない市単独事業であるため、これ以上は望めない		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	若者の参加を増やしていく必要はある。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 毎回、40人以上の参加者があり、市民から知的好奇心を得る場として好評を得ているので、鯖江図書館友の会と協働で、昨年度同様の形態で実施する。	平成31年度計画 毎回、40人以上の参加者があり、市民から知的好奇心を得る場として好評を得ているので、鯖江図書館友の会と協働で、昨年度同様の形態で実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>	
年度	H26(2014) H27(2015) H28(2016) H29(2017) H30(2018) H31(2019)
取組選択	不可能 不可能 不可能 不可能 不可能 不可能
実施状況	未実施 未実施 未実施 未実施 未実施 未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	映像シアター開催事業	事業コード 612
------------	------------	--------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実

PLAN(計画)	部署名	文化の館	開始年度	1995	終了年度	9999
	目的	映像芸術、視聴覚教材に親しんでもらうことを通じて、市民へ娯楽を提供するとともに、文化的教養の向上に資する。				
	概要	月1回程度の頻度で、名画等の鑑賞会を開催するとともに、子ども向け「こどもシアター」を夏休み・春休み期間などに年1・2回開催する。また、映像制作活動を行っている市民グループの作品を合わせて上映する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	上映回数		回	目標値	14	14	14	14	14

DO(実施)	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	年間入場者数		人	目標値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
				実績値	1,113	1,081	1,059		
	計算根拠	年間入場者数		達成率(%)	101.2	98.3	96.3		

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.05
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0.18
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	99	65	65	65	65	
	決算額	99	65	65	65		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	毎回80名ほどの参加者があり、好評を得ている。		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	優れた映画や郷土の昔の映像を見る機会は殆どないので、市民の精神的風土を豊かに するために行政が行なう必要がある。		
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>	
			事業名			
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	最低限の経費で事業を行なっている。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国・県等の補助制度が存在しない市単独事業であるため、これ以上は望めない			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	上映作品内容を変更して、これまでと違う視点を導入する。さらに「こどもシアター」 として子ども向けのシアターを開催する。			

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="事務改善"/>
	平成30年度取組み 子どもから高齢者までが、映像を楽しみ親しむことが できる場を提供するため、昨年度同様の形態で実施する。	平成31年度計画 子どもから高齢者までが、映像を楽しみ親しむことが できる場を提供するとともに、映画館では上映されていな い、ドキュメンタリー映像を見せるなど、より教養を深 める場として活用する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	図書充実事業	事業コード
		2077

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
335				

PLAN(計画)	部署名	文化の館	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	蔵書を充実することにより、図書館サービスの向上を図る。				
	概要	市民のニーズに沿った質の高い蔵書をめざして、図書資料等の選書、収集、整理、保存を行う。				
	法令根拠	図書館法				
	実施形態	現在	市直営			
	内容					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	蔵書数		冊	目標値	346,000	347,000	348,000	349,000	363,000
				実績値	351,530	357,333	361,812		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	インターネット予約数		件	目標値				8,200	8,300
				実績値					
	計算根拠	予約件数:市民の求める資料をそろえる。		達成率(%)					
				実数値					
	レファレンス数		件	目標値	5,500	5,500	5,500		
				実績値	5,479	5,282	4,443		
	計算根拠	レファレンス数:市民の求める資料・情報に応える件数		達成率(%)	99.6	96.0	80.8		
				実数値					
				ランク	A	A	B		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.3			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託	4			
	経費区分	物件費			※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	15,770	15,770	15,617	14,890	14,445			
	決算額	15,770	15,770	15,617	14,890				

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	市民の知的財産集積の図書館として、資料を揃えて提供している。市民の図書館利用登録率も70%を越えており、市民が恒常的に利用している。		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	図書館法により図書館の利用対価を徴収できないので、民間事業とすることは困難である。また、資料の収集において偏向しないことや知的水準の維持も求められているので行政が行う必要がある。		
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ある"/>	主体	福井県立図書館	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>	
			事業名	図書館サービス		
		根拠	鯖江市民への直接的なサービスが必要である。			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
事業名						
根拠						
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	経費を限界まで削減してきているので、これ以上の削減余地はない。			
		根拠				
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="その他"/>	根拠	国・県等の補助制度が存在しない市単独事業であるため、F×Gによる支援を求める。			
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	蔵書の充実、レファレンスサービス（調べもの）において、質の向上は常に求められる。				

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	市民が求める資料、情報に正確かつ迅速に応えるため、図書および資料等の選書の質を高め、蔵書の充実を図りながら、昨年度同様の形態で実施する。		平成31年度計画 市民が求める資料、情報に正確かつ迅速に応えるため、図書および資料等の選書の質を高め、蔵書の充実を図りながら、昨年度同様の形態で実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	こどもの読書活動支援 (学校図書館支援センター) 事業	事業コード 2212
------------	-----------------------------	---------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	学校図書館の充実

PLAN(計画)	部署名	文化の館	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	未来を担う子どもたちの心を培うため、乳幼児から児童生徒までの読書活動を支援し、情操を豊かにするとともに考える力の向上に寄与する。				
	概要	0歳児から対象年齢別に子どもの読書支援イベントを実施し、本に親しむ環境づくりを図る。「学校図書館支援センター」を核として、学校、家庭、地域と連携協働を進め、ボランティアの育成に努める。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	こどもの読書支援イベント年間開催回数 (館内イベントのみ対象)		回	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	102	102	101		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	こどもの読書支援イベント年間参加者数 (館内イベントのみ対象)		人	目標値	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
				実績値	1,833	1,884	1,741		
	計算根拠	事業への参加者累計		達成率 (%)	107.8	110.8	102.4		
				実数値					
		ランク		A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.5
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	3.5
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	4,174	2,640	2,605	2,259	2,238	
	決算額	4,100	2,552	2,559	2,154		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	0歳児、幼稚園・保育所(園)園児、小学生が本に親しむよう年齢別に事業を実施して、これらの機関から多くの賛辞と多くの要請を受けている。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	「子どもたちが本に親しむかどうかということは今後の国のありようを左右する」と英国のブレア元首相の言葉である。子どもの読書推進事業は行政以外が果しえないことである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ある	主体	福井県立図書館	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	事業名	図書館サービス	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	市民への直接的サービスが重要である。		
	有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		事業名			
		根拠	国・県等の補助制度が存在しない市単独事業であるため、これ以上は望めない		
		根拠	年齢対象別のイベントも周知され、学校図書館支援センター事業での学校からの要請も増えている。学校図書ボランティア育成も含めた連携強化により子どもの読書向上が望める。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み	こどもの読書支援事業は、豊かな子どもの心を培うものとして重要な事業であるため、昨年度同様の形態で実施する。	平成31年度計画	こどもの読書支援事業は、豊かな子どもの心を培うものとして重要な事業であるため、昨年度同様の形態で実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	読書手帳普及事業	事業コード
		3233

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実

PLAN(計画)	部署名	文化の館	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	読書手帳の発行・普及により、図書館から借りた本の履歴(読書歴)の管理を利用者自らが行うことが可能となり、「一度読んだ本を再度借りてしまうことが避けられる」「以前読んだ本を再度借りたいときなどにスムーズに手続きできる」など利用者の利便性が向上する。また、読んだ本の履歴が目に見えて増えていくことや、読んだ本の簡単な感想を書き込むことなどで、読書の楽しみが増し、読書活動推進へとつなげることができる。				
	概要	文化の館において、読書手帳を発行し、図書館利用者が読書履歴を自分で管理することが可能にする。記念手帳に、シールラベルを貼る形式にする。 H26.10.27～発行開始				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
内容						

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	読書手帳の配布冊数(累計)		冊	目標値	1,500	1,700	1,900	2,500	2,700
				実績値	1,575	1,987	2,307		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	シールタイプロール紙の使用量		巻	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	16	16	16		
	計算根拠	ロール紙の使用量で、貸出履歴の出力冊数の把握ができる。(ロール紙は1巻につき2300冊分の貸出履歴が印字可能。)			達成率(%)	80	80	80	
					実数値				
				ランク	B	B	B		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.17			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託	0.17			
	経費区分	物件費			※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	1,000	31	87	59	59			
	決算額	971	0	59	59				

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	個人の貸出履歴に関する問い合わせが多い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	貸出履歴を出力できるのは、図書館情報システムからのみである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
		事業名			
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	初期導入は終了し、最低限の維持費のみである。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	市民にまだ知られていないため、広報をしていく。また、子どもたちにも普及してい きたい。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 利用者が自らが読書履歴を楽しみながら管理できるため、読書活動推進のひとつとして、昨年度同様の形態で実施する。	平成31年度計画 利用者が自らが読書履歴を楽しみながら管理できるため、読書活動推進のひとつとして、昨年度同様の形態で実施するとともに、使い方を具体的に示しPRを行う。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	「えきライブラリー」運営事業	事業コード 3234
------------	----------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標 若者が住みたくなるまちの創造	基本施策 ものづくり教育とふるさと学習の推進	実施施策 市民との協働事業の推進
	244			

PLAN(計画)	部署名	文化の館	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	JR 鯖江駅利用者の利便性向上による乗降客の増加策および駅前活性化施策の一環として、鯖江市が長期間空きスペースとなっているJR 鯖江駅2階を整備・貸出し、このスペースを活用した市民協働による事業を展開する。				
	概要	鯖江市がJR 鯖江駅2階スペースを整備活用する市民協働による事業において、図書の貸出を行うため、図書の購入や情報検索・発信のためパソコンを配置する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	その他			
内容	図書の選書・団体貸出：市直営		運営：民間委託等			

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	「えきライブラリー」への配本冊数	冊	目標値	2,600	1,200	1,200	1,200	1,200
実績値			1,198	1,130	1,307			

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	返却冊数	冊	目標値	1,200	1,200	1,200	1,300	1,300
			実績値	1,327	1,220	1,492		
	計算根拠	「えきライブラリー」への本の返却冊数	達成率(%)	110.6	101.7	124.3		
実数値								
ランク		A	A	A				

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.13
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0.26
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	300	232	136	127	55	
決算額	280	155	70	15			

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	えきライブラリーでの利用者の利便性がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民協働事業として行政がかかわる事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	これ以上の削減余地はない。		
		根拠			
		根拠			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	魅力ある図書を提供し、返却ポストのPRをしていく。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	JR鯖江駅前のにぎわい創出と、JR利用客や周辺住民の利便性を図るため、昨年度同様の形態で実施する。	平成31年度計画	JR鯖江駅前のにぎわい創出と、JR利用客や周辺住民の利便性を図るため、昨年度同様の形態で実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】		<input type="text" value="不可能"/>				
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	図書館情報オープンデータ化事業	事業コード 3308
------------	-----------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標 若者が住みたくなるまちの創造	基本施策 オープンデータとITで都会的サービスが享受できるまち	実施施策 データ公開、アプリ活用の推進	222
------	--------	------------------------	------------------------------------	------------------------	-----

PLAN(計画)	部署名	文化の館	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	図書館マップ「配架図」をオープンデータ化することにより、図書館内外から自分の探している本がどの書棚にあるかを知ることができる。iphoneの位置情報とあわせることで本探しが容易になるなど利用者の利便性が向上させる。平成28年1月～さばとマップ稼働。				
	概要	図書館書架にiBeaconを設置し、書架の位置情報を取得する。書架に並んだ本の分類番号と結びつけたデータを作成・公開する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容					

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	アプリ納入業者「㈱カーリル」との打合せ	回	目標値	10	2	2	2	2
			実績値	10	2	2		

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	アプリ「さばとマップ」の登録者数(新規)	人	目標値				100	100
			実績値					
	計算根拠		達成率(%)					
			実数値					
	アプリ「さばとマップ」の登録者数(累計)	人	目標値	368	600	700		
		実績値	368	569	744			
計算根拠	H28年度未登録者数569人+平成29年度登録者数10人×12月=700人	達成率(%)	100	94.8	106.3			
		実数値						
		ランク	A	B	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.09
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額		500	65	65	65	
	決算額		500	65	65		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	平成28年1月にアプリ「さぼとマップ」を稼働し、1か月で233人のインストールがあり、その後、着実にインストール件数があるため、住民のニーズはある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市直営の施設であるため、行政が実施すべきもの判断。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
		事業名			
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	平成28年度以降は配架管理システム i Beaconの年間利用料のみが発生するが、アプリ「さぼとマップ」を運営するためには必要不可欠。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国・県等の補助制度が存在しない市単独事業であるため、これ以上は望めない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	市民に引き続きPRし、アプリ「さぼとマップ」の利用者を増やしていく。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	引き続き、図書館の利便性向上を図るため、「さぼとマップ」の利用促進を行い、昨年度同様の形態で実施する。	平成31年度計画	引き続き、図書館の利便性向上を図るため、「さぼとマップ」の利用促進を行い、昨年度同様の形態で実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	読書困難者支援事業	事業コード
		3309

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実

PLAN(計画)	部署名	文化の館	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	これまでの障害者サービスで提供してきた資料は「点字(訳)図書」「録音(テープ・CD)図書」「大活字本」などであるが、障害特性に合わせた資料やサービス方法の開拓・活用が求められている。2016年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(通称:障害者差別解消法)」が施行し、図書館としても拡大読書器などを整備することで、視覚障害者などの読書困難者にもバリアなく読書を楽しんでもらうことを目指す。				
	概要	拡大文字・白黒反転などに対応した拡大読書器を設置。また「サピエ(視覚障害者総合情報ネットワークシステムの略称)」を利用することで点字・読み上げ図書データの提供を行っていく。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	啓発チラシ配布(視覚障害者)		枚	目標値	50	100	100	100	0
				実績値	50	100	100		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	視覚障害者への視聴覚資料郵送回数		回	目標値	18	20	30	30	30
				実績値	18	37	27		
	計算根拠	1月あたり1.5回×12月		達成率(%)	100	185	90		
				実数値					
		ランク		A	A	B			
タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	1				
	事業タイプ	単独事業	事業要員	臨時・嘱託	3				
	経費区分	物件費	事業要員	※所要時間	0				
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額		274	40	40	40			
	決算額		274	40	40				

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	平成28年1月に拡大読書器とサピエ再生プレーヤーを購入し、障がい者読書支援サービスを拡充しており、今後、継続的な利用があると判断する。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市直営の施設であるため、行政が実施すべきもの判断。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	平成28年度以降はサピエの年間利用料のみで、最低限の支出と判断する。		
		根拠	国・県等の補助制度が存在しない市単独事業であるため、これ以上は望めない。		
		根拠	市民に引き続き本サービス事業をPRし、利用拡大を図っていく。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	従来から提供している点字図書、録音図書、大活字本に加え、拡大読書器利用やサピエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）を通じての図書利用サービスを昨年度同様の形態で実施し、読書困難者の読書支援を行っていく。サピエの図書利用サービスについては、平成26年度の開始以来利用者がいない現状を鑑み、平成30年度に視覚障害者団体等との調整を図り改善を行う。	平成31年度計画	従来から提供している点字図書、録音図書、大活字本に加え、拡大読書器利用やサピエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）を通じての図書利用サービスを昨年度同様の形態で実施し、読書困難者の読書支援を行っていく。しかし、サピエの図書利用サービスについては、平成26年度の開始以来利用者がいない状況から平成31年度は視覚障害者の方に個別に利用を呼び掛けて利用率の改善を図る。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施